



2022年1月17日

アウディ ジャパン  
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106  
アウディ コミュニケーションセンター

## 新型 Audi Q4 e-tron / Q4 Sportback e-tron を発表

- アウディの電気自動車 e-tron 第3弾となるプレミアムコンパクト SUV
- EV専用プラットフォームにより、次世代デザインとクラスを超える室内空間を実現
- 125kW ※の急速充電 (CHAdeMO 規格) に対応。普通充電は最大 8kW  
※2022年8月31日更新：最大 94kW の急速充電 (CHAdeMO 規格) 対応

アウディ ジャパン (東京都品川区：ブランド ディレクター マティアス シェーパース) は、アウディの電気自動車第3弾となるプレミアムコンパクト SUV、新型 Audi Q4 e-tron / Q4 Sportback e-tron を、本日発表、全国のアウディ e-tron 取扱正規ディーラー (104 店舗、現時点) を通じて本年秋以降発売予定です。

アウディの電気自動車 e-tron 第3弾となる Audi Q4 e-tron シリーズは、アウディがコンパクト SUV セグメントに導入する初の電気自動車で、大型 SUV 電気自動車の Audi e-tron および Audi e-tron Sportback、スポーティな 4 ドアグランツーリスモ Audi e-tron GT に続くモデルです。近年特に関心が高いコンパクト SUV セグメントにベストマッチするモデルであり、アウディブランドの電動化戦略における重要なステップを担います。

Audi Q4 e-tron は、電気自動車専用プラットフォーム MEB を採用しています。それにより全長 4.59m、全幅 1.87m (欧州値) と Q3 と Q5 のあいだに位置するコンパクトなボディサイズながら、インテリア全長は Q5 を凌ぎ、室内空間、荷室は上位モデルに敵うスペースを実現しています。520ℓ (Sportback は 535ℓ) の荷室容量に加え、インテリアにはカップホルダーやドリンクホルダーなど合計 24.8ℓ もの収納スペースを確保しました。

ボディタイプは、存在感のあるフォルムの SUV とスタイリッシュなクーペ SUV の Sportback の 2 つのタイプを設定。エクステリアは、短いフロントオーバーハング、筋肉質なフェンダー、美しいルーフライン、柔らかく流れるようなサイドライン、ワイドなプロポーションを強調する水平基調のリヤエンド、最新の Audi Q ファミリーに共通するオクタゴン (8 角形) かつ開口部のないシングルフレームグリルなど、ひとめでアウディの電気自動車とわかる独自のデザイン言語を取り入れています。またマトリクス LED ヘッドライトには、量産車として世界初となる MMI を通じて 4 つのデザインから選択可能なデジタルデイトタイムランニングライトを備えています。

さらに空力性能にも注力しており、電動開閉式の冷却エアインレットやフロントスポイラーに対し垂直に配置されたディフレクター、立体的なホイールディフレクター、空力性能を最適化したデザインのエクステリアミラーハウジング、テールゲートのサイド部分 (SUV) やリヤスポイラー (Sportback) などにより、Cd 値は SUV モデルであるにもかかわらず、Q4 e-tron が 0.28、Q4 Sportback e-tron は 0.26 を実現しています。

グレード構成は、Q4 e-tron は Base / advanced / Sline の 3 タイプ、Q4 Sportback e-tron は、advanced / Sline の 2 タイプの設定となっています。両モデルともに advanced は、フロントグリルのカラーがヘクラグレーとなり、マトリクス LED ヘッドライトや 19 インチアルミホイールを装備しています。一方、Sline ではグリルがプラチナムグレーとクロームパーツを組み合わせたものとなり、フロントバンパーやサイドシル上部にセレナイトシルバーのカラーリングが施されます。20 インチアルミホイールを装着し、よりスポーティさを強調しています。

インテリアは、センタークラスターがドライバーに向けられたドライバーオリエンテッドなデザインを採用。特徴的なセンターコンソールと専用デザインのシフターを装備しています。メーターには 10.25 インチのオーディオバーチャルコックピットを、センターには 11.6 インチの MMI タッチディスプレイを配置することによって、フルデジタルのコックピットを形成しています。オーディオ初となる上下ともにフラットな形状の新世代のステアリングホイールは、物理ボタンのないシームレスなタッチ式となっています。また、フロントスクリーンには上下 2 つに分けて情報を表示する AR ヘッドアップディスプレイをコンパクトセグメントとしては日本初導入。上部には、ナビゲーションや車線逸脱警告等を、フロントガラス越しの視界に映像を重ねて約 10m 前方に表示し、下部には速度などの主要な情報を約 3m 前方に表示するものです。

パワートレインは、システム電圧 400V のテクノロジーを使用した総容量 82kWh (実容量 77kWh) の駆動用バッテリーを、前後アクスル間の床下に搭載。リヤアクスルに 1 基の電気モーターを搭載し、後輪を駆動します。駆動用電気モーターは最高出力 150kW、最大トルク 310Nm を発揮。0-100km/h 加速は 8.5 秒。一充電走行距離は 516km(欧州値)と高い実用性を誇ります。200V の普通充電は、標準は 3kW で、オプションとして最大 8kW まで対応。急速充電は CHAdeMO 規格の 125kW ※ に対応しており、~~例えば 125kW で 5% から 80% までが 38 分で充電可能 (理論値) となります。~~

Audi Q4 e-tron は、通常とは異なるモーター始動・停止方法を採用しています。着席してスタートボタンを押す従来の方法か、もしくはブレーキペダルを踏むだけでイグニッションは ON に。停車時はサイドブレーキボタンを押し、ブレーキを離すとイグニッション OFF となります。パーキングブレーキのボタンはありません。走行中の回生ブレーキの強さは、パドルシフトで 3 段階に調整が可能です。また、オーディオ初の B モード (パドルシフトで最大のレベル 3 に相当) を備えており、アクセルペダルだけで速度調整が出来るワンペダルでのドライブ感覚も味わうことができます。

もちろん最新の安全技術とアシスタンスシステムを搭載。フロントカメラをはじめ、車体前後に中距離レーダーと超音波センサーを、また車体前後と左右ミラーに計 4 つの 360°周辺環境カメラを内蔵しています。従来のアダプティブクルーズコントロールとアクティブブレーンアシストを統合したアダプティブクルーズアシストをはじめ、死角を並走する車両を検出するオーディオサイドアシスト、後方から近づく自転車や車両をセンサーで監視するエグジジットワーニングなど多数の機能を装備しています。

## 車両本体価格

モデル	電気モーター	バッテリー容量	駆動方式	方向	車両本体価格 (税込)
<b>Q4 40 e-tron</b>	電気モーター×1 150kW/310Nm	82kWh	後輪駆動	右	5,990,000 円
<b>Q4 40 e-tron advanced</b>	電気モーター×1 150kW/310Nm	82kWh	後輪駆動	右	6,620,000 円
<b>Q4 40 e-tron S line</b>	電気モーター×1 150kW/310Nm	82kWh	後輪駆動	右	6,890,000 円
<b>Q4 Sportback 40 e-tron advanced</b>	電気モーター×1 150kW/310Nm	82kWh	後輪駆動	右	6,880,000 円
<b>Q4 Sportback 40 e-tron S line</b>	電気モーター×1 150kW/310Nm	82kWh	後輪駆動	右	7,160,000 円